

本日入荷



独り暮らしに役立つ、実用と遊び心のグッズたち。



手前より、ワイヤー製布団叩き1,280円、折畳み式ハンガー各700円、リュウビー型S&P980円、トースト用焼印「トーストトーク」600円、ティディベア・マグカップ各800円、クリップ式ライト2,800円、目覚まし時計1,980円、煙の出ない灰皿500円、キッチンスケール各3,000円、チューリップ型マグカップ1,200円、フタの黒板(白墨付き)2,200円、ワイヤーバスケット1,600円、小型コーヒーマーカー1,500円、キッチンツールセット(ポット付き)1,500円、19枚入るCDラック3,500円、傘立て3,800円(4本までOK)ティッシュケース3,800円/提供: ハンズ北山☎075・712・5553

卒業式シーズンも終わり、次にやってくるのが入学、就職シーズンの到来。この春より京都で独り暮らしを初体験!なんて若者も多いに違いない。そんな若者たちにお薦めするのが、今回紹介するハンズ北山に入荷した。独り暮らし専用雑貨&グッズたち。上の写真をよくご覧あれ。抱きしめたくなるダックスフント型ティッシュケース、洒落のつもりかトーストにニコニコマークの焼印をいれるスタンプ、スリムなデザインで場所をとらない傘立て...などなど、「誰がこんな買うのよ!」と思ってしまふ珍品から、あつぱいなアイデア賞的な物まで、実に多種多様。

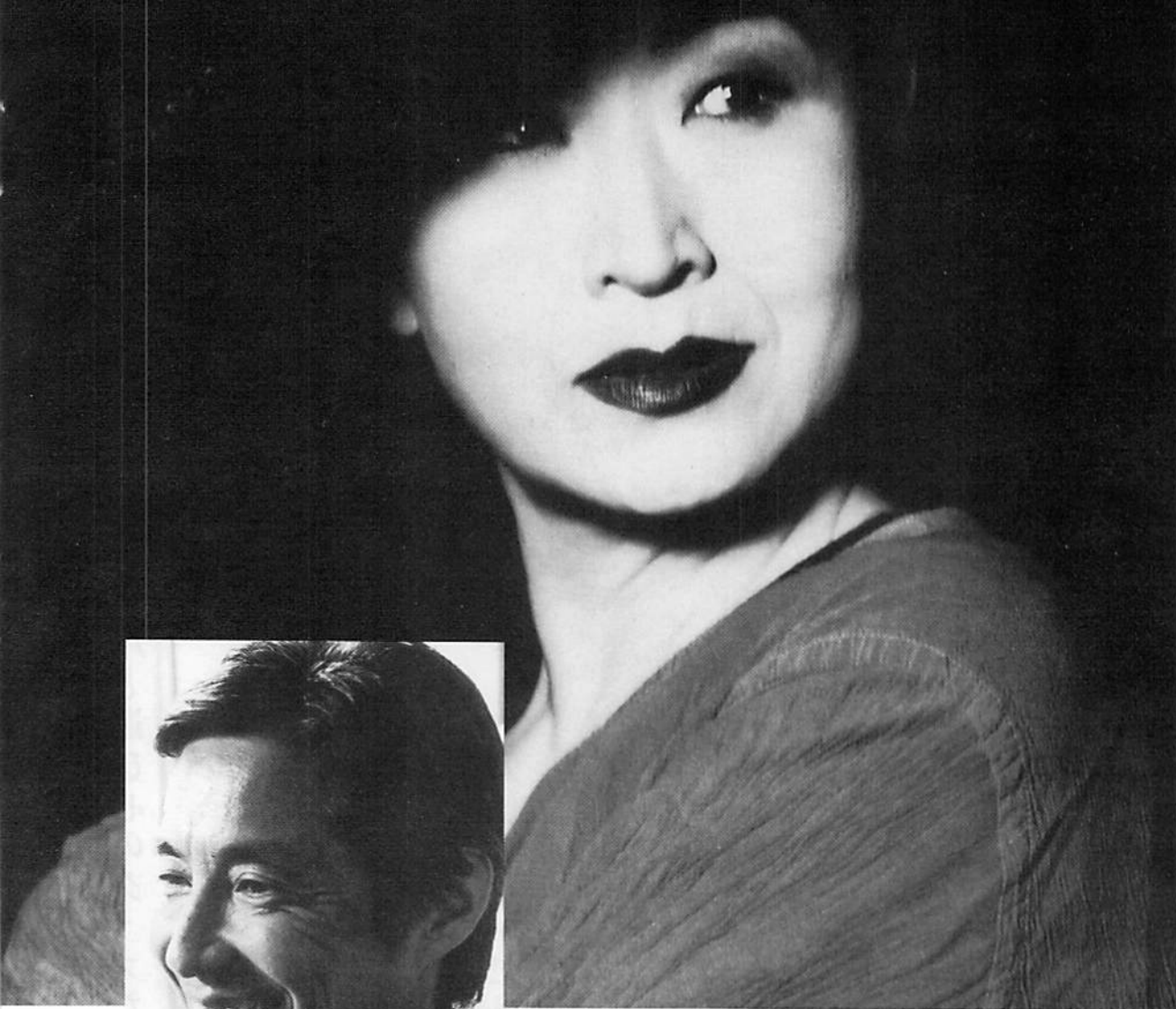
ハンズ北山側の話によると、最近の傾向は、「素朴なカントリ調」が売れ筋で、写真にも紹介されているワイヤー製の籠や、フタさんの黒板(定食屋に並べたらハマリそう)あたりが若い女性を中心にヒットしているそう。特に今回入荷の新商品は、流行のカントリ調の物の他、実用的で「遊び心」をも十分満足させてくれる商品が多いとのこと。

実際始めてみれば分かつと思うが、独り暮らしは思いのほか地味で孤独が付きまとうもの。それらと仲良く折り合うのに、愛敬のあるグッズの力を借りるのもまんざらではないかも。

ライター/金江ユリ

ヒラリーよりも、 ひらりよりも

加藤登紀子が夫、
藤本敏夫とトーク&ライブ



大阪公演は3月19日、ホテルニューオータニ鳳凰の間でPM6:00開場、PM6:30開演。この公演についてのお問い合わせは、藤本敏夫VS加藤登紀子トーク&ライブ実行委員会。代03-5950-0059（直通）03-5950-6839まで

「激動の」と呼ばれた年代が過去いくつもあった。日米安全保障条約、いわゆる安保締結に揺れた60年代前半、条約延長が大問題となった60年代後半から70年代前半。経済絡みで大揺れに揺れた80年代。わけて、最も時代がエネルギーギッシュで、人々のパワーの指向性が一点に集中した時代といえは70年安保の時代、60年代後半である、という説に異論を唱える者は少ないだろう。70年安保の喧嘩が収束に向かう72年、ある女性が、当時服役中だった元全学連委員長の同志社大生と獄中結婚した。加藤登紀子、「知床旅情」「百万本のバラ」で知られ、日本人女性として初めてカーネギーホール公演を大成させ、フランス政府より、芸術文化賞「シュバリエ」を授けられた歌手である。

その加藤登紀子が、21年連れ添ったご主人、藤本敏夫氏とふたり、2月25日の福岡を皮切りに、大阪、東京、札幌、最後に名古屋と全国5つの都市で『藤本敏夫VS加藤登紀子 Talk & Live』と銘打った対話と歌のショーをパーティーとの2部構成で行う。

このところの不景気で時代は「陽から陰へ」「会社から家庭へ」「表から裏へ」と向かうといわれている。人々の思いは人間同士の関係に集まっていくことであろう。全共闘の闘士として理念に生きる男と歌を通じて人間の情念を表現し続ける女のせめぎ合いは、あなたに何を与えてくれるのだろうか。